

# 広島平和教育研修

富士見中学校  
2年生 5名



とうろう流し

8月5日から7日まで、富士見中学2年生5名（引率教諭1名）が「広島平和教育研修」を実施しました。

この研修で平和祈念式典への参列、平和祈念資料館見学のほか、被爆者の方から体験談を伺うなど、平和学習を深めてきました。参加者5名が、この研修を通じて体験した「想い」をご紹介します。

「生きたい」と叫びながら、消えていった人の「無言の痛み」と「無念の怒り」。被爆で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、負傷された方、またご家族の方々に心から深くお見舞い申し上げます。



原爆が奪つた平和な日常、命、この悲惨な過ちは世代の違う私たちが忘れる訳にはいきません。私が今回学んだことは、核兵器が二度と使われないために、原爆の被害を忘れてはならないということでした。このことを世代を超えて伝えていきたいと思います。

自分で見た遺品、被爆者一人一人の生涯。改めて戦争はしてはならない、非核への思いが強くなりました。原爆は、その一瞬で亡くなつた方だけでなく、その後、放射線が原因で亡くなつた方もたくさんいます。資料館には髪の毛が展示されていました。この髪の毛は、母親が娘の髪を三回ほどとかしたら全て抜けてしまつたものでした。他にも黒い爪や、皮膚も展示されていました。

改めて学ぶ  
尊い平和  
富士見中学校 2年  
なとりまいか香  
名取舞香



広島研修を通して  
富士見中学校 2年  
ごみ味すみれ



自分が「もし原爆による被害を受けていたら」と考えると想像ができないくらい苦しいことだと思いました。改めて今の何不自由なく生活できる幸せを実感しました。

私は原爆の悲惨さや、人々が受けた心の傷み苦しみを、今回の研修で学んだことをもとに、多くの人たちに伝えていきたいです。そして二度と悲しむ人が出ぬように、私は平和について強く願います。

私は広島研修を通して原爆の悲惨さを感じることができました。平和祈念資料館では、原爆により町は焼け野原になり、人々の洋服だけでなく、皮膚まで焼けただれました。昨日まで当たり前にあった生活を全て奪つてしまつたその原爆は、とても恐ろしいものだと思いました。

廣島研修で特に印象深かつたのが原爆の被害の大きさです。悲惨さについて物語っているものの一つに「仲ちゃんの三輪車」がありました。これは爆風により三輪車が溶け、全体的に錆びてしまつたものです。写真で見たことはありましたが、実物は想像以上に破壊されていて、言葉が出ませんでした。

広島研修に行って  
富士見中学校 2年  
いしやまかわりんり  
石山花梨



## 被爆者の証言から 思ったこと

富士見中学校2年  
平出 堅大

僕は広島研修で一番印象に残つたことは、被爆者証言の集いです。ここでは母親のお腹の中で被爆した、胎内被爆の方から当時の話をお聞きすることができました。

その方は、生まれながらにして股関節脱臼があり、頭や体が小さく、のちに原爆小頭症と診断を受けたそうです。思うように体が動かず、生活しにくかったと言つていました。

僕が一番驚いたことは、母親の胎内にいても原爆の放射線をあびたことで身体に影響が出てしまうことでした。

今では想像できないような当時の状況を聞くことができました。実際に当時の様子を知る方から話を聞くことで、原爆の影響力の大さを感じることができました。今でもその話は忘れられません。これからも忘れずに平和について願つていきたいです。



## 8月6日に起きたこと

富士見中学校2年  
名取 天翔

昭和20年8月6日の朝、8時15分に広島に原子爆弾が投下されました。これにより広島の町並みはもちろん、人々の生活も一転しました。

今回の研修で見たり聞いたりした中で、とても印象に残つたのは、本川小学校の地下で見た配電盤です。地下にあるのにも関わらず、原爆の熱風で大きく変形していました。たつた一つの原爆は、とても大きな被害をもたらしたことでも大きな復興をしてきました。多くの人の平和への願いによるものだと思います。

今現在の広島は、長い年月をかけて復興してきました。多くの人の平和への願いによるものだと思います。

原爆投下から69年が経つた今、「非核平和宣言の町」の町民として、核の廃絶に向けて自分ができることを精一杯していきたいです。



▲折鶴を捧げる様子



▲原爆ドーム前にて



▲当時の様子を聞く



▲恒久平和を祈願します



▲平和への願いを水面に浮かべる



▲研修報告会の様子

## 富士見町人材育成海外派遣事業中学校生徒参加者募集

申込 国生涯学習課 生涯学習公民館係 ☎62-7900



町内在住の中学生を対象に、ニュージーランドでのホームステイや学校生活等の体験学習を通じて、郷土をより正しく理解し、国際感覚豊かな人材を育成することを目的に実施する「富士見町人材育成海外派遣事業」への参加者を募集します。

- 対象：富士見町在住の中学生
- とき：平成27年3月20日(金)～3月30日(月)の11日間
- 派遣先：ニュージーランド・タスマンディストリック・リッチモンド(友好都市)
- 内容：ホームステイ、ワイメアカレッジとの交流等体験学習を予定(研修内容は変更になることがあります)
- 募集人数：15人(書類審査等を行い、定員を上回った場合は抽選)
- 費用：一人あたりの総経費約40万円、個人負担額約20万円(金額は変動する場合があります。その他諸経費が個人負担としてかかります)
- 申込締切：平成26年10月14日(火)
- 申込先：富士見中学校生徒は富士見中学校、他の中学校生徒はコミュニティ・プラザ内生涯学習課